

課題を解決していくために、5つの政策を取り組みます

政策テーマ

サブテーマ

交 流

自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり

～連携を強化し、交流を促進する道づくり～



世界・県外への広域交通拠点（空港・港湾）へのアクセス性を向上させる道づくり

中核都市を中心とした地域生活圏を形成する道づくり

市町村や離島などの連携・交流を支える道づくり

本島の広域的な交流を促進する高規格幹線道路の利用促進

活 力

自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり

～都市部の交通渋滞を緩和する道づくり～



交通需要に対応したバイパス・環状道路・都市計画道路の整備

早期に整備効果の発現が期待できる交差点改良など既存ストックの有効活用

公共交通を活用したTDMの実施など道路の使い方の工夫

安全・安心

安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり

～安全で安心な暮らしを実現する道づくり～



子供、高齢者、障害者など誰もが安全に快適に利用できる道路の整備

災害や救急医療など緊急時に対応した道づくり

離島・過疎地域の安定した暮らしを支える道づくり

観 光

沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出

～観光を支援し、環境を保全・創造する道づくり～



交通拠点（空港・港湾）や観光地への移動を円滑にする道づくり

沖縄らしさを感じる道づくり

貴重な自然環境と調和する道づくり

沿道環境を改善する道づくり

暮 ら し

特性を活かした安らぎと活力ある地域づくり

～ゆとりある個性豊かな地域を創出する道づくり～



地域の活性化への支援

既存ストックを活用した地域コミュニティの創出

米軍基地跡地利用など区画整理事業等を活用した街づくりへの支援

電線類の地中化などによる快適な道路空間の創出



この政策テーマは、沖縄地方道路懇談会で平成14年度に議論いただき、とりまとめられた提言に基づきビジョンとして策定したものです。

政策テーマ毎の進め方

- 道路行政マネジメントの考え方に従って、平成18年度に実施した取り組みの成果を整理・分析し、結果・反省を次年度の取り組みに反映させます。
- 平成18年度目標に達しなかった内容については、原因を整理・追求した上、平成19年度の取り組みに反映していきます。

■ 交流 ■ (詳細は、P.8～P.13)

取り組み方針

拠点(中心都市・空港・港湾)までのアクセス性を向上させます

ハシゴ道路ネットワークの形成に向けた事業を進めるとともに、既存道路の有効活用を進める取り組みを検討します。

事業実施による主要拠点までのアクセス性向上の効果を把握し、評価します。



拠点までのアクセス向上を目指し、ハシゴ道路ネットワークを形成します。

ハシゴ道路ネットワーク構築に向けて、関連する道路事業を実行します。

ハシゴ道路ネットワークについては、P.9に掲載

■ 活力 ■ (詳細は、P.14～P.21)

取り組み方針

那覇都市圏交通円滑化総合計画を推進し、道路の混雑の原因を取り除き、渋滞の削減・緩和を図るとともに、自動車からのCO₂排出量を減らします

対策による新たな課題へ対応するとともに、交差点改良やバイパス整備に加えたTDM施策などの取り組みを検討します。

事業実施による道路の渋滞緩和・解消やCO₂排出量削減の効果を把握し、評価します。



渋滞解消とCO₂削減に向けて、渋滞の現状を把握した上で重点対策区間を選定し、渋滞対策方針を検討するとともに、那覇都市圏交通円滑化総合計画、CO₂削減アクションプログラムを推進します。

道路渋滞による損失やCO₂排出量の高い箇所からの計画的な事業を実施するとともに、CO₂削減アクションプログラム対象箇所についてH24年までに事業を完了させます。

CO₂アクションプログラムについては、P.15に掲載

■ 安全・安心 ■ (詳細は、P.22~P.33)

取り組み方針

道路の安全性を向上させます

対策効果に対する評価、及び協働パトロールの評価を反映し、対策を検討します。

事業実施による道路の安全性向上の効果を把握し、評価するとともに、地域住民との協働パトロールを行い、効果の確認をします。



道路交通事故の低減に向け、課題箇所を把握し、対策内容を検討した上で交通事故対策プログラム（暫定・抜本的対策と対策スケジュール）を作成するとともに、橋梁の耐震補強を進めます。

計画的に死傷事故の多い箇所の交通事故対策を進めるとともに、橋梁の耐震補強を進めます。

交通事故対策プログラムについては、P.23に掲載

■ 観光 ■ (詳細は、P.34~P.39)

取り組み方針

観光支援に向けて、観光拠点までのアクセス性向上、わかりやすい道路案内の構築・景観の向上を進めます

実施した取り組みの効果把握に努め、さらなる向上を目指します。

主要な観光地までの所要時間の短縮や観光情報の質と量の向上等を評価します。



観光拠点までのアクセス性向上や観光客へのわかりやすい道路案内の構築・景観の向上に向け、道路利用者への利便性を考慮した取り組みを検討します。

観光拠点までの所要時間の短縮や、初めて沖縄へ来訪する観光客にもわかりやすい道路案内の構築・景観の向上を進めます。

■ 暮らし ■ (詳細は、P.40~P.45)

取り組み方針

電柱・電線類の地中化や歩行空間のバリアフリー化を進め、防災性や歩きやすさを向上させるとともにまちの魅力を高めます

計画的に事業を継続実施するとともに、さらなる事業の進捗管理の徹底を行います。

事業の進捗を確認し、景観の向上および快適な歩行空間の形成について評価します。



防災性や歩きやすさを向上させ、まちの魅力を高めるため、電線・電柱の地中化を実施する無電柱化推進計画を進めます。また、歩行空間のバリアフリー化を進めます。

無電柱化推進計画に従って、無電柱化整備を進めます。また、計画に基づいたバリアフリー化を進めます。

無電柱化推進計画については、P.41に掲載

平成18年度の主な取り組み

交流

観光



国道449号本部南道路

【対策】：4車線部分供用

【目的】：観光地までのアクセス性向上
沿道緑化整備

暮らし



国際通りバリアフリー化
(那覇市美栄橋地区)

【対策】：バリアフリー

【目的】：すべての人が安全で快適に通行できる歩行空間の創出

交流



喜舎場スマートIC

【対策】：スマートIC社会実験

【目的】：北中城IC周辺の渋滞緩和
沖縄自動車道の利用促進

道路種別	
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	モノレール

交流

活力



豊見城道路

【対策】：暫定2車線全線供用(平成19年3月末)

【目的】：空港までのアクセス性向上
交通渋滞の解消

活力

安全



協働パトロール

【対策】: 対策効果を住民とともに確認
【目的】: 今後の事故対策への反映

活力



エコドライブ・キャンペーン

【対策】: エコドライブの推進
【目的】: CO2 排出量の削減

安全



東江4丁目交差点

【対策】: 左折フリー排除、歩道の設置
【目的】: 追突事故の減少

道路種別	
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	モノレール

安全



泉崎交差点

【対策】: 泉崎ロータリーの削除
通行方法の変更
【目的】: 交通事故の減少

安全



交通安全マップ

【対策】: 学校付近の交通安全マップの作成
【目的】: 交通事故の減少